

# コメ・コメ加工品の輸出の際 こんな悩みお持ちではないですか？

日本とは異なるラベル表記を要求されたけど、初期費用が相応必要なな…

アメリカやEU、イスラム圏等が求める認証を取得したいけど、どんな支援をしてくれるのだろう…

フィリピンやインド向けにも輸出したいけど、1パレットからでもくん蒸の支援を受けられるかな…

輸出商品が相手国の残留農薬や重金属の基準値に適合しているか心配…

日本とは異なるラベル表記を輸出先国から要求された場合、栄養分析等の費用について、支援を受けることができます！

アメリカ向けのFDA登録や、ハラール認証など、コメの輸出に必要な登録や輸出拡大に繋がる認証の取得のための経費について、支援を受けることができます！

フィリピンやインド向けに輸出する場合、1パレットからでもくん蒸に係る経費の支援を受けられます！

相手国の残留農薬や重金属の基準値が日本国内の基準値より厳しい場合、分析にかかる費用について一定額の支援を受けられます！



## コメ・コメ加工品規制対応事業では 以下の経費を支援しています

### 1：中国向け精米輸出に係るくん蒸等対応経費

- ① くん蒸に係る経費  
(補助率：定額)
- ② とう精賃の掛かり増し経費  
(補助率：定額)
- ③ 海外実需者が求める残留農薬等の分析費用  
(補助率：1/2以内)
- ④ くん蒸に係る輸送掛かり増し経費  
(補助率：定額)

### 2：海外へのコメ・コメ加工品輸出に係る経費

- ① 輸出先国・地域の規制に対応するためのデータの収集や規制当局への協議等に要する経費  
(補助率：定額)
- ② 食品ラベル表示（栄養表示等）に当たって必要となる栄養分析等に要する経費  
(補助率：定額（1事業者当たり10件、1件当たり5万円が上限））

### 3：重金属・残留農薬等の分析に係る経費

- ① 輸出先国・地域における重金属・残留農薬基準値が日本国内の基準値より厳しいもの  
(補助率：定額（1検体当たり5万円が上限））
- ② 日本国内では基準値が設定されていない重金属・残留農薬等であって、輸出先国・地域では基準値が設定されているもの  
(補助率：定額（1検体当たり5万円が上限））
- ③ ①及び②には該当しないが、日本国内の基準値より厳しい又は日本国内では基準値が設定されていないものについて、海外実需者の求めに応じて行う重金属・残留農薬等の分析  
(補助率：1/2以内（1検体当たり2万5千円が上限））
- ④ EU向けの無機ヒ素分析については、1検体までの制限を設けず、輸出の都度の申請も可能

### 4：海外へのコメ・コメ加工品輸出に必要な認証取得経費

- グローバルGAP等の海外実需者が求める認証等を取得するためのコンサルタント経費、研修会参加費用、認証取得費用等  
(補助率：1/2以内)

※ 1・2・4については、

新たな国・地域向けの輸出に係る取組 または 販売拡大等により輸出目標数量を対前年比8%以上増加させる取組 である場合に限りです。

## お悩みがあれば ぜひご相談ください！

問合せ先：全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会事務局  
TEL：03-5643-1720 eメール：jimukyoku@zenbeiyu.or.jp

# 支援可能な費用の例

## 1：中国向け精米輸出に係るくん蒸等対応経費支援

- 中国に輸出するコメのくん蒸費用
  - 中国に輸出するコメの残留農薬等の分析費用
  - 輸出事業者の最寄りのくん蒸倉庫が使えない場合、最寄りのくん蒸倉庫から代替のくん蒸倉庫までの輸送費用
- など

## 2：海外へのコメ・コメ加工品輸出に係る規制対応経費支援

- パックご飯を米国に輸出するにあたり、米国におけるFID認証やSID認証の取得費用
  - アメリカ精米工場のFDA食品施設登録代行にかかる費用
  - 米国に輸出するパックご飯の栄養成分（飽和脂肪やトランス脂肪酸等）の分析費用
  - EUにおける「食品に接触する素材及び製品に関する規則」に対応する適合宣言書を発行するための費用や「容器包装規則」に適合しているか確認するための分析費用
  - フィリピンやインドへの精米輸出にあたって必要となる、精米のくん蒸にかかる費用
  - 輸出先国において使用可能な食品添加剤を調査するための費用
- など

## 3：重金属・残留農薬等の分析費用支援

（海外実需者の求めに応じて残留農薬等の分析を行う場合に限る）

- 輸出するコメに、各国・地域が定める基準値を超えた残留農薬や重金属（カドミウムや鉛、無機ヒ素等）が含まれていないか検査するための費用
- など

## 4：海外へのコメ・コメ加工品輸出に必要な認証取得経費支援

- EU Organic の外国格付認証の取得費用
  - 日本酒の有機認証やコーシャ認証の費用
  - 米産地の輸出拡大につなげるためのGlobal GAP認証取得費用
- など

# 申請等のイメージ

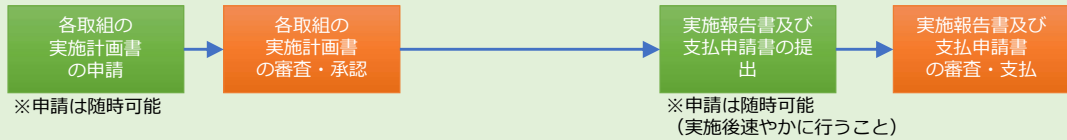
## 1：中国向け精米輸出に係るくん蒸等対応経費支援

## 2：海外へのコメ・コメ加工品輸出に係る規制対応経費支援

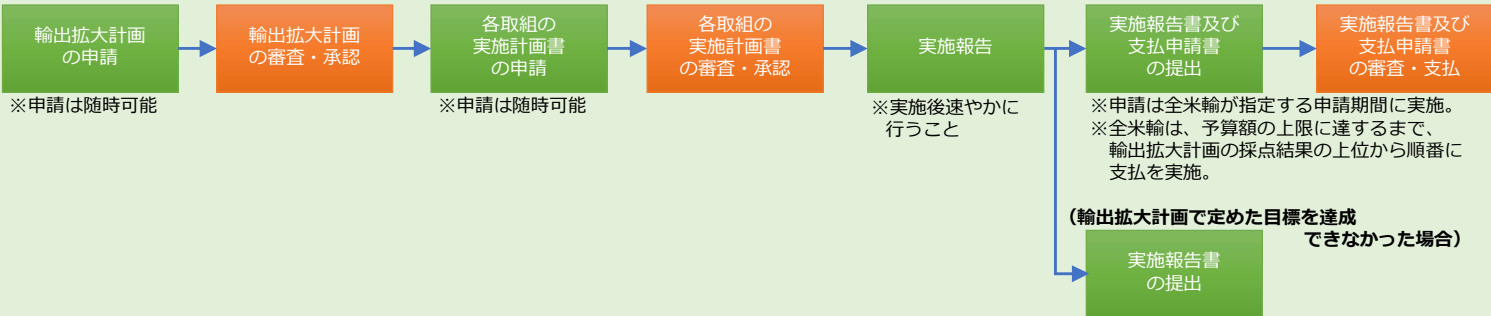
## 3：重金属・残留農薬等の分析費用支援（海外実需者の求めに応じて残留農薬等の分析を行う場合に限る）

## 4：海外へのコメ・コメ加工品輸出に必要な認証取得経費支援

### 1・2・4＜新たな国・地域向けの輸出に係る取組＞



### 1・2・4＜販売拡大等により一定以上輸出を拡大させる取組＞



### 3：重金属・残留農薬等の分析費用支援（海外実需者の求めに応じて残留農薬等の分析を行う場合を除く。）



### 1・2・3・4

事業成果報告書の提出

※事業終了年度の翌年度から起算して3年間、各年度の7月末まで